

一般社団法人 三重県作業療法士会 広報誌

OTみえ

NEWS

No.130

2019.2



リハビリジャー、様々なイベントに登場



平成30年度みえ福祉用具アイデアコンクール審査会に参加して

副会長 佐藤明俊

2018年10月3日(水)、三重県身体障害者総合福祉センターにて、平成30年度みえ福祉用具アイデアコンクールの審査会がありました。今年度は、全国から応募総数313作品(昨年285作品)あり、5名の審査員が5作品の候補を事前に選出しました。審査員には、大学、行政、福祉用具販売会社、自助具工房、三重県作業療法士会の各関係団体から構成されており、審査会当日は、各審査員より今後の展望性も見すえて意見交換を行いながら、重複含め選出された18作品を、先行開発されているもの、類似品のあるものを更に除外しました。その最終選考で残った作品から、最優秀賞、優秀賞、三重県作業療法士会賞、日本福祉用具供給協会三重県ブロック賞、三重テレビ放送賞、伊勢新聞社賞を選びました。三重県作業療法士会賞には、カチューシャ型ヘアバンドを選びました。また受賞者には、2018年11月9日(金)に開催されました「みえ福祉用具フォーラム2018」の会場で行われた表彰式で、田中一彦会長より賞状と景品が付与されました。

その他の、受賞作品は、みえテクノエイドセンターのHP



(<http://www.ztv.ne.jp/mie-tech/H30idea.html#e13>)で確認できます。

皆さまも、臨床で困ったとき、こんな物があれば良いな、こういう工夫をしたら、日常生活が変わるな・・・と言うアイデアが有りましたら、来年度のアイデアコンクールに応募してみても如何ですか？

(参加報告) リハレンジャー登場



救急・健康フェア2018に参加して

鈴鹿中央総合病院 中村優里

2018年9月16日(日)に鈴鹿市主催のイベントで「救急・健康フェア2018」が鈴鹿医療科学大学にて開催されました。その中で当会のブースは「リハビリテーションフェア2018」として、地域の方へのリハビリテーションに関する啓発活動を目的に、リハビリテーション関連職種を紹介やアンケート、リハビリテーションに関する知識の伝達を行いました。

全体のイベント内容としては、医師による健康相談や血圧測定、また女性消防隊員による救急に関する人形劇など、老若男女楽しめる活動を各ブースにて実施していました。リハビリテーション部門では、理学療法ブースでは運動機能測定、言語聴覚療法ブースでは脳トレ体験、作業療法ブースでは吹き矢体験を行いました。

私は作業療法ブースで、受付やパンフレットの配布、リハレンジャーとして吹き矢体験に参加させて頂きました。参加者

にはまず、受付にて「作業療法」について簡単なアンケートに答えて頂き、その後実際に吹き矢を体験して頂きました。今年度は来場者203名と多くの方に参加して頂きました。アンケートに回答して頂いた98組の中では「作業療法を知っているか」という設問に対して「知っている」と回答したのは57組、「知らない」と回答したのは41組という結果になりました。また、「作業療法が何をするのか」という設問に対して「知っている」と回答した方が30組、少し知っていると回答した方が19組、「知らない」と回答した方が49組という結果になりました。今回のアンケートから約半数の方に「作業療法を知っ

